

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育を実践する

【学校 目標】

○自分なりに解決し、知識を再構築することに重点を置いた授業の創造

【現状と課題】

○視点1

(1)子どもたち自身で学習の目的意識や見通しをもって主体的に考えたり、自分の考えを伝えたりすることに苦手意識をもっている児童がいる。

(2)タブレット操作などの情報活用能力の個人差が大きい。

○視点2 自分とは違う意見や考えを取り入れながら考えを広げたり、自ら考え選択し決定したりすることが苦手な児童がいる。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①学習中、子どもたち自身が目的意識や見通しをもって主体的に考えたり、自分の考えを伝えたりする機会を意識的に設定し、「めあて」と「ふりかえり」に重点を置いた授業づくりをする。 ②効果的なICT活用を教員間で交流しながら実践していく。	①子どもがつける学習アンケート 保護者アンケート(ともに肯定的評価 85%以上)		
	①教員の自己評価(肯定的評価 70%以上)		
	②子どもがつける学習アンケート 教員の自己評価(ともに肯定的評価 85%以上)		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①教科学習、学級会の中で、自分とは違う意見や考えを取り入れながら考えを広げたり、自ら考え選択し決定したりする場面を設定する。	①子どもがつける学習アンケート(肯定的評価 85%以上)		
	①教員の自己評価(肯定的評価 70%以上)		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①校内研究やOJT研修を活用して、教員の授業スキルや児童の実態を把握する力の向上をはかる。	①教員の自己評価(肯定的評価 70%以上)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・研究授業前の指導案検討や教材研修会(OJT研修)を6月・9月・11月に行う。→年3回以上
- ・研究授業(6・9・11月)と公開授業(6・11月)後に全職員で研究会を行う。→年6回
- ・4月の校内研究全体会では、本校の課題や児童につけたい力等を協議し、2月の校内研究全体会では、一年間の取り組みと課題・成果について全職員で話し合っ次年度につなげていく。
- ・適宜、学力向上部会やOJT研修会(年16回程度)を開催し、学級や家庭の実態を検証しながら改善策を考え、実践につなげていく。

今年度の取組の成果と課題

--